

平成26年4月11日
NO.2014-16_新規

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内致します。

今後とも引き続きお引き立てのほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 平成26年4月1日(火) ご依頼分より

■ 新規受託項目

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 検査項目 | 抗ARS抗体 |
| 項目コード | 6047-02 |
| 検査方法 | ELISA |
| 基準値 | 25.0未満 陰性 |
| 検体量 | 血液 3.0 ml |
| 容器 | X (生化学用スピッツ) |
| 保存方法 | 冷蔵 |
| 所要日数 | 2~9日 |
| 実施料 | 190点 (「D014」自己抗体検査の16) |
| 判断料 | 144点 (免疫学的検査判断料) |
| 備考 | 不活化検体では、データ影響を及ぼす場合がありますので避けて下さい。 |

※ 裏面をご覧ください。

●抗ARS抗体

多発性筋炎・皮膚筋炎に特異的な自己抗体「抗ARS抗体」の測定を開始します。

多発性筋炎・皮膚筋炎 (Polymyositis/Dermatomyositis: PM/DM) は、骨格筋を障害する自己免疫性の炎症性筋疾患です。小児から高齢者まで幅広い年齢層で発症し、症状は多彩で個人差があります。

PM/DMでは、多様な特異的自己抗体が出現しますが、そのなかでも最も高頻度にみられるのがアミノアシルtRNA合成酵素 (Aminoacyl-tRNA Synthetase: ARS) に対する抗ARS抗体です。

抗ARS抗体には、抗Jo-1抗体をはじめとした数種類の自己抗体が同定されており、これらが陽性の患者では、共通した臨床的特徴がみられ、「抗ARS抗体症候群」を呈します。その特徴に、極めて高い確率で間質性肺炎を併発し、治療反応性はステロイドが奏効するが再燃しやすいことが知られています。

本検査は、既存の抗Jo-1抗体に、他の4種類の抗ARS抗体 (抗PL-7抗体、抗PL-12抗体、抗EJ抗体、抗KS抗体) を加えた、合計5種類の抗ARS抗体を一括して検出いたします。抗ARS抗体の検出は、PM/DMの診断、治療法の選択、予後の予測に期待されています。

▼ 対象疾患

多発性筋炎 (Polymyositis: PM)
皮膚筋炎 (Dermatomyositis: DM)
間質性肺炎 (Interstitial Pneumonia: IP)

▼ 関連項目

抗Jo-1抗体
抗核抗体 (ANA)
KL-6
肺サーファクタントプロテインD (SP-D)

保険算定上の条件

*抗Jo-1抗体定性、抗Jo-1抗体半定量、抗Jo-1抗体定量を併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。

*本検査と(「D014」の9)から(「D014」の16)までに掲げる検査を2項目又は3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、それぞれ320点又は490点を算定する。ただし、本検査と抗Jo-1抗体定性、抗Jo-1抗体半定量、抗Jo-1抗体定量を併せて実施した場合は、1項目として数える。